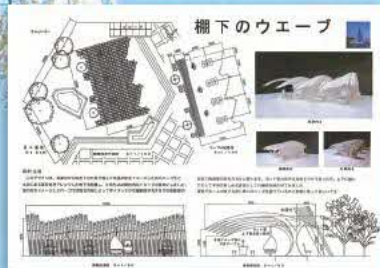
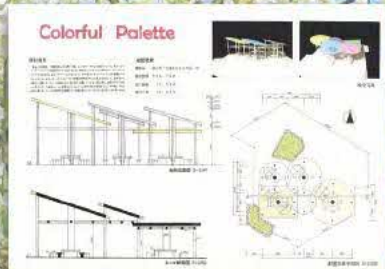


令和元年度

高校生建築デザイン コンクール

課題 / 「北海道子どもの国のパーゴラのある四阿」



ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2019

はじめに

公共建築物は、行政分野はもとより教育・文化、医療・福祉、研究など、さまざまな分野で、地域の産業や日々の生活と密接な関わりを持つものであり、地域の活性化や生活の質の向上のほか、気候風土等と調和した魅力あるまちづくりを推進する上でも重要な役割を果たしています。

道では、道民の皆様にも愛され親しまれる施設の整備を進めるとともに、将来の建築技術者となる若年層の育成を図る一環として、道内の建築系学科に在籍する高校生を対象に、整備等を予定している小規模な施設の設計に先立ち、夢のあるユニークなデザインを募集する「高校生建築デザインコンクール」を平成8年度から実施しており、今回で24回目となりました。

今年度は、道央自動車道の砂川ハイウェイオアシスに隣接する道立公園「北海道子どもの国」に整備する「パーゴラのある四阿(あずまや)」の設計を募集したところ、10校169人から148作品の応募がありました。

この四阿は、公園内の植物等を鑑賞し楽しむことのできる休憩施設を想定しており、緑あふれる周辺環境との調和の取れたデザインや、子どもの国の施設らしい遊具を彷彿とさせる楽しいデザインなど、高校生ならではの創造力豊かな作品が数多く寄せられました。

外部の選定委員を交えた厳正な審査の結果、最優秀作品賞1作品、優秀作品賞3作品、佳作4作品、特別賞2作品が選定されました。

受賞者の皆様、誠におめでとうございます。

最優秀作品賞については、その設計主旨を実際の設計に反映する予定としており、建築技術者の魅力や喜びを体験いただけるものと思います。また、参加いただいた全ての高校生の皆様にとっても、公共建築物について考え、学んだ経験が、今後建築技術者として第一線で活躍される上で貴重な財産になることを期待しております。

終わりに、高校生建築デザインコンクールの実施にあたり、各高等学校でご指導いただいた先生方をはじめ、共催いただいている(公社)日本建築家協会北海道支部、(一社)北海道建築士事務所協会、(一社)北海道建築士会など、関係機関の皆様には多大なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

令和元年(2019年)12月

ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2019

審査総評

「高校生建築デザインコンクール」は、道内の建築系学科の高等学校に在籍する生徒の皆様から、道が整備する公共建築物のデザインについて、高校生らしい夢のあるユニークなアイデアを広く募集するとともに優れた作品を表彰しているものです。

今年度は、砂川市の砂川ハイウェイオアシスに隣接して整備された「北海道子どもの国」の利用者のために整備を予定している「パーゴラのある四阿（あずまや）」を設計課題としたところ、148作品という過去最多の応募がありました。今年度も多くの関係者のご協力により、高校生建築デザインコンクールを盛会に進めることができました。

選定委員を代表して、関係者の皆様にお礼を申し上げます。

応募作品は、既存の花壇やパーゴラに絡めた植物を通じて周辺環境と一体となったデザインや公園ならではの遊び心をくすぐるデザインを用いながら、子供からお年寄りまで多様な利用者への使いやすさも配慮された高校生らしいエネルギーで創造性あふれる作品が数多く見られました。

応募のあった作品については、「高校生らしい若々しさと創造性にあふれているか」「設計のコンセプトやデザインに魅力があるか」「立地条件を活かしているか」「実施設計に反映させ得るデザインであるか」といった観点から厳正に審査を行い、最優秀作品1作品、優秀作品3作品、佳作4作品、特別賞2作品を選定いたしました。

このほか、惜しくも入賞されなかった作品の中にも、高校生らしい創造性にあふれたデザイン提案が数多くありました。

このコンクールへ参加したことにより、さらに建築に対する関心を高め、建築技術を学ぶ皆様の学習意欲の高揚や将来の建築関連分野への進路選択にもつながることを期待しております。

今回、ご応募いただきました皆様のこれからのご活躍をお祈りし、審査総評とさせていただきます。

令和元年度(2019年度)高校生建築デザインコンクール選定委員会
委員長 北海道建設部建築局建築整備課長 山口 元

令和元年度(2019年度) 高校生建築デザインコンクール入賞者一覧

最優秀作品賞(1作品)

最上 稜平 (北海道苫小牧工業高等学校 3年)
佐藤 柚輝 (北海道苫小牧工業高等学校 3年)

優秀作品賞(3作品)

本田 佳基 (北海道小樽未来創造高等学校 3年)
和田 愛梨 (北海道名寄産業高等学校 1年)
村上拳志朗 (北海道苫小牧工業高等学校 3年)
茂地 柁宜 (北海道苫小牧工業高等学校 3年)

佳作(4作品)

菊地 春花 (北海道函館工業高等学校 3年)
和田まゆか (北海道函館工業高等学校 3年)
縄 翔太 (北海道留萌高等学校 2年)
小野 朝陽 (北海道留萌高等学校 2年)
水野 大介 (北海道留萌高等学校 2年)
佐々木虎太郎 (北海道苫小牧工業高等学校 3年)
大井研太郎 (北海道苫小牧工業高等学校 3年)
渡辺 千希 (北海道苫小牧工業高等学校 3年)

特別賞(2作品)

秋村 京佑 (北海道苫小牧工業高等学校 3年)
池島 智秋 (北海道苫小牧工業高等学校 1年)
高橋 鉄三 (北海道苫小牧工業高等学校 1年)

ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2019

令和元年度(2019年度) 高校生建築デザインコンクールの実施概要

道内の建築を志す高校生の勉強の励みとし、将来の建築技術者となる若年層の育成と技術向上に寄与することを目的として、平成8年度から「高校生建築デザインコンクール」を実施しています。

道内の高等学校（建築系学科）に在籍する生徒から夢のあるユニークなアイデアを募集するものです。

最優秀作品に選ばれた作品の提案主旨は、道において、設計に取り入れ道民に親しまれる施設となるよう建設を進めていきます。

- 1 課 題 「北海道子どもの国のパーゴラのある四阿」
「北海道子どもの国」の施設利用者のためのパーゴラを設置した四阿（あずまや）を設計してください。
- 2 応募資格 道内高等学校（建築系学科）に在籍する個人又は3名以下のグループ
- 3 提出図面 J I S 規格A 2判(420mm×594mm)横置き 1枚片面に下記の全ての図面を描く
 - ① 作品タイトル
 - ② 設計主旨
 - ③ 配置図兼平面図 1/100
 - ④ 断面図 1/50
 - ⑤ 立面図 1/50 (1面)
 - ⑥ スケッチ又は模型写真又は透視図
 - ⑦ 面積表
- 4 応募作品 169名から148作品の応募
- 5 入選作品 最優秀作品1作品 ・ 優秀作品3作品 ・ 佳作4作品 ・ 特別賞2作品
- 6 経 過 募集要項配付 令和元年 5月20日
作品受付 令和元年 8月29日まで
選定委員会 令和元年 9月11日
作品展(予定) 令和2年 1月14日から令和2年 1月15日まで
- 7 選定委員 十 河 昌 司 (公益社団法人日本建築家協会北海道支部 教育委員会教育委員長)
重 綱 博 美 (一般社団法人北海道建築士事務所協会 業務・技術委員会担当副会長)
針ヶ谷 拓 己 (一般社団法人北海道建築士会 常務理事・まちづくり委員長)
藤 村 誠 (北海道教育庁学校教育局高校教育課長)
山 口 元 (北海道建設部建築局建築整備課長)



入賞作品

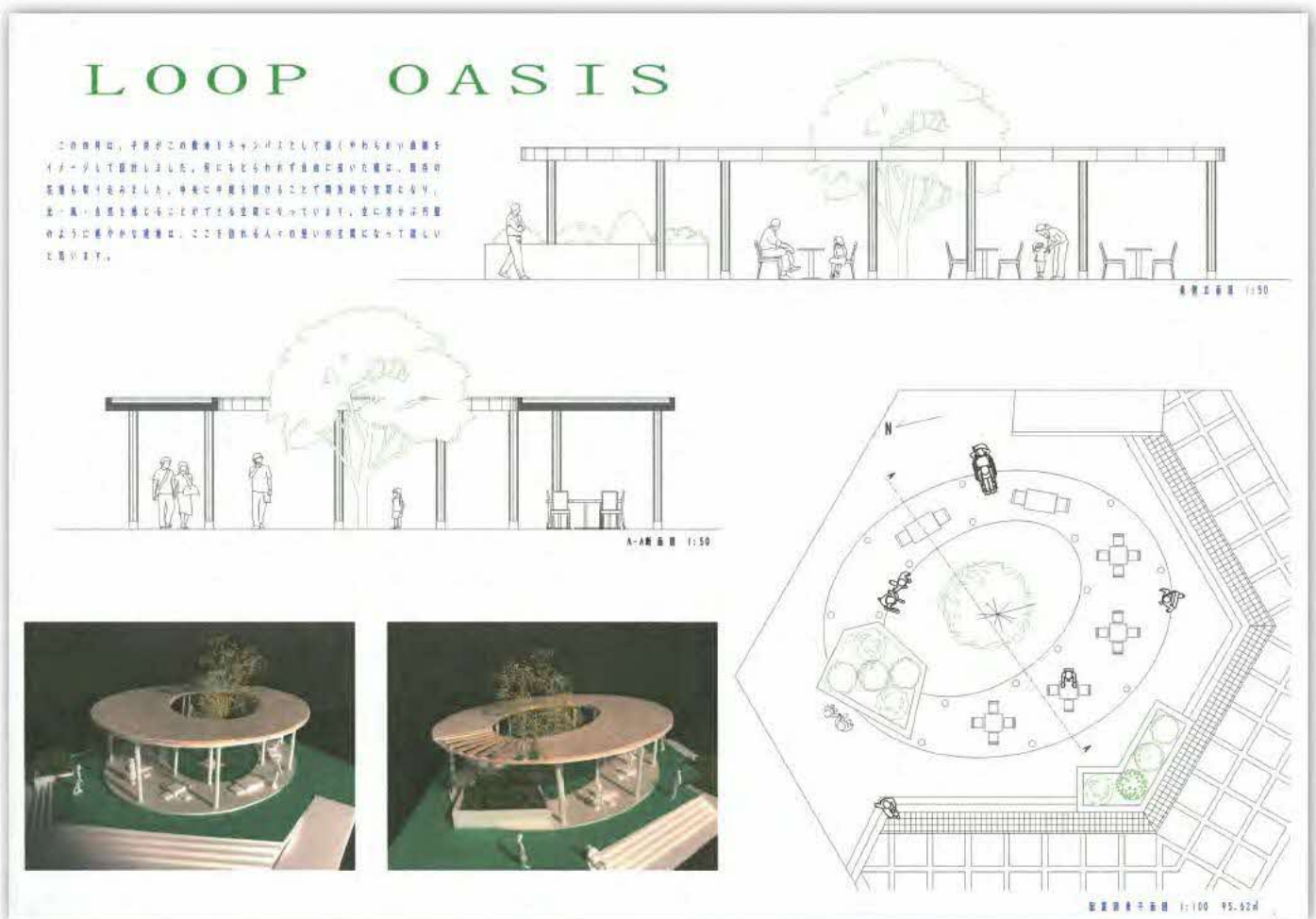


最優秀作品賞

北海道苫小牧工業高等学校

最上 稜平 (3年)

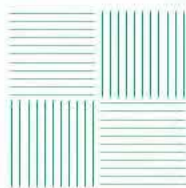
佐藤 柚輝 (3年)



作品名 「 LOOP OASIS 」

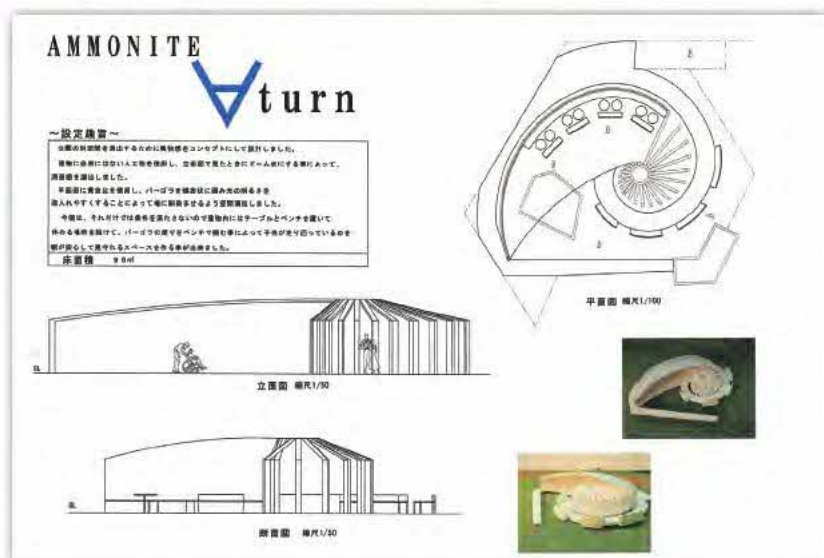
設計趣旨 この四阿は、子供がこの敷地をキャンパスとして描くやわらかい曲線をイメージして設計しました。何にもとらわれず自由に描いた線は、既存の花壇も取り込みました。中央に中庭を設けることで開放的な空間になり、光・風・自然を感じることができる空間になっています。空に浮かぶ円盤のように軽やかな建物は、ここを訪れる人々の憩いの空間になって欲しいと思います。

審査講評 敷地条件を適切にとらえ、広い空間をシンプルな構造体でまとめた実現性が高い作品である。オーソドックスなデザインでありながらもとても美しく、既存の花壇をデザインに取り込む姿勢が高く評価された。



優秀作品賞

北海道小樽未来創造高等学校
本田 佳基 (3年)



作品名 「AMMONITE V turn」



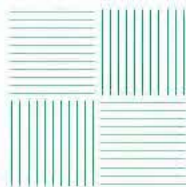
設計主旨

公園の別空間を演出するために異物感をコンセプトにして設計しました。
建物に自然にはない人工物を使用し、立面図で見たときにドーム状にする事によって、洞窟感を演出しました。
平面図に黄金比を使用し、パーゴラを螺旋状に囲み光の明るさを取り入れやすくすることによって場に馴染ませるよう空間演出しました。
今回は、それだけでは条件を満たさないで建物内にはテーブルとベンチを置いて休める場所を設けて、パーゴラの周りをベンチで囲む事によって子供が走り回っているのを親が安心して見守れるスペースを作る事が出来ました。



審査講評

既存花壇の取り込みや、貝の様な屋根が連続性の中で四阿からパーゴラに変わる美しいデザイン性が評価された。



優秀作品賞

北海道名寄産業高等学校
和田 愛梨 (1年)



作品名 「屋根の上のちいさなひみつきち」



設計主旨

北海道子どもの国は、子ども・ペット連れの家族が多く、休憩や遊びの空間として親しまれています。ここに子ども達だけの特別な場所「ひみつきち」をつくることにしました。集まった子ども同士は「ひみつを共有する仲間」として仲良くなり、交流を深められる場所にしたいと思いこの四阿を設計しました。



審査講評

高低差をつけた遊び心をくすぐられる断面計画や屋上の積極的利用など、子どもの国の施設らしい面白いアイデアが評価された。

優秀作品賞

北海道苫小牧工業高等学校

村上拳志朗 (3年)

茂地 証宜 (3年)



作品名 「 YUTORINOBA 」



設計主旨

この四阿は、3つの丸太をイメージし、それに囲まれるようにパーゴラをつくりました。丸太の大きさはそれぞれ違い、大きな丸太は、初めて合う人とコミュニケーションが取れる場として、中くらいは、家族や友達同士で、小さな丸太は、個の空間として思い思いに使用できます。

3つの丸太をつなげるパーゴラは広場となっており、子供が遊んだり自由に使えます。このパーゴラに植物が育ち緑で覆われ、例えば、秋にはぶどうが実り、それを子供たちが収穫できれば楽しいと思います。

四阿とパーゴラの設計がテーマだったので、それぞれをどのように考えるか難しかったですが、やわらかい曲線でつなげることができ、やさしい空間にすることができたと思います。



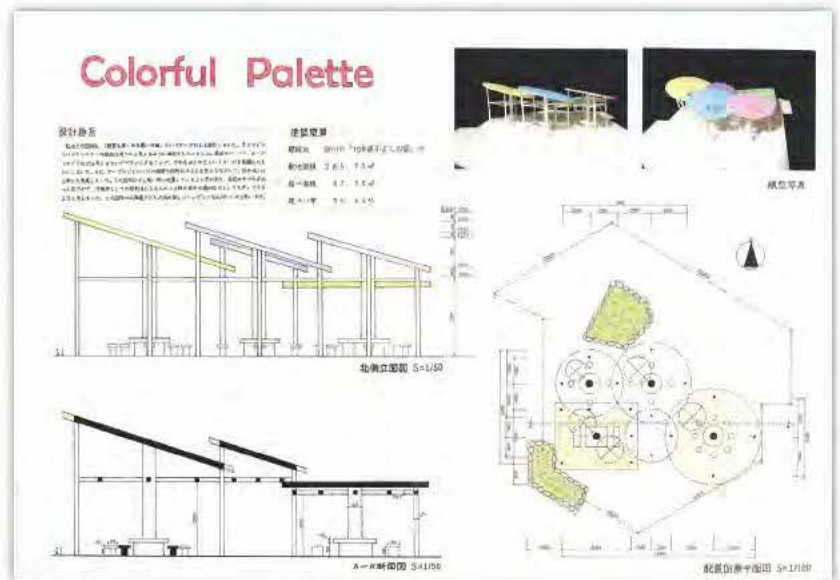
審査講評

3つの四阿をやわらかな曲線形状のパーゴラでつないだ全体的にまとまりのあるデザインが評価された。

佳作

北海道函館工業高等学校

菊地 春花 (3年)



作品名 「 Colorful Palette 」



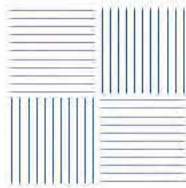
設計主旨

私はこの四阿を、「視覚も楽しめる憩いの場」というテーマのもと設計しました。色とりどりのパステルカラーの屋根は周りから見えるように傾斜をもたせました。屋根やパーゴラ、テーブルやイスなどは多くを丸いデザインにすることで、やわらかくやさしいイメージを意識したものにしました。また、テーブルごとにイスの個数や四阿の大きさを変えるなどして、訪れる人の人数にも考慮しました。この四阿は少し高い所に位置している上に色があり、自然の中でも目立つと思うので、休憩所としての役割はもちろんのこと待ち合わせ場所などとしても使ってもらえると考えました。この四阿が北海道子どもの国の新しいシンボルになればいいなと思います。



審査講評

小さく分けられたカラフルな屋根による、明るい空間を創出する機能とかわいらしいデザインの両立が評価された。



佳作

北海道函館工業高等学校
和田まゆか（3年）



作品名 「斜簾」



設計主旨

シンプルでインパクトのある四阿を目指しました。

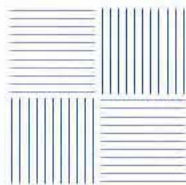
周りにある花壇の花を際立たせるために全体を落ち着いた色彩にし、四阿とパーゴラの屋根を円に統一することでシンプルになるようにしました。そして、2つの四阿の中心に木を配置して屋根から飛び出すようにし待ち合わせ場所としても利用できるように印象に残るように立面をしました。

周りで遊ぶ子供達の様子が伺えるよう竹を交差させ、さらにそれはすだれのような役割を担っており、日よけにもなり涼しさを感じさせてくれると思います。家族や友人と遊びに来て落ち着けて快適に過ごせるような空間にしました。



審査講評

ダイナミックな配置としながら、竹を斜めに交差させた壁ルーバーの美しく印象深いデザイン提案が評価された。



佳作

北海道留萌高等学校

縄 翔太（2年）
小野 朝陽（2年）
水野 大介（2年）



作品名 「拡がる緑廊と支える四阿」



設計主旨

樹状トラスを用いることにより、実際の木のように見えるパーゴラ（緑廊）を設計しました。植物が育つと緑廊の屋根にも緑が拡がるので植物の成長を感じられ、何度も来ても違う表情を見せてくれます。

四阿部分は、砂川市にあるソメスサドルという馬具メーカーの工場からヒントを得てレンガを用いました。

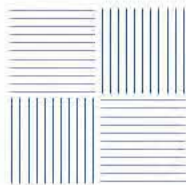
緑廊は回廊型にすることにより、様々な角度から自然を感じることができます。また、4つのエリアごとに異なるイスを設置することでどなたでも楽しめ、使い心地が良くなるよう工夫しました。

入口の大きさや回廊の幅、テーブルなどは、車椅子の方でも使いやすいよう配慮しています。この四阿を沢山の方に利用していただきたいと思っています。



審査講評

地域を観察する姿勢や、樹木に見立てた球状のパーゴラと扇状の屋根を組合せた美しいデザインが評価された。



佳作

北海道苫小牧工業高等学校

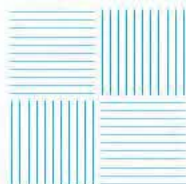
佐々木虎太郎 (3年)
大井研太郎 (3年)
渡辺 千希 (3年)



作品名 「DIAGNAL -時の傾き-」

設計主旨 この四阿は、目線の高さから眺めるとピサの斜塔を連想し、真上から見ると楕円形になったデザインです。天井の中心には植物がつつう三角形の網目状のパーゴラがあり、そのパーゴラからは、光が入り神秘的な三角形模様を描きます。また、内部の椅子の配置は時計をイメージし時を刻むようにデザインされています(長さの違う長椅子は短針、長針、秒針)。

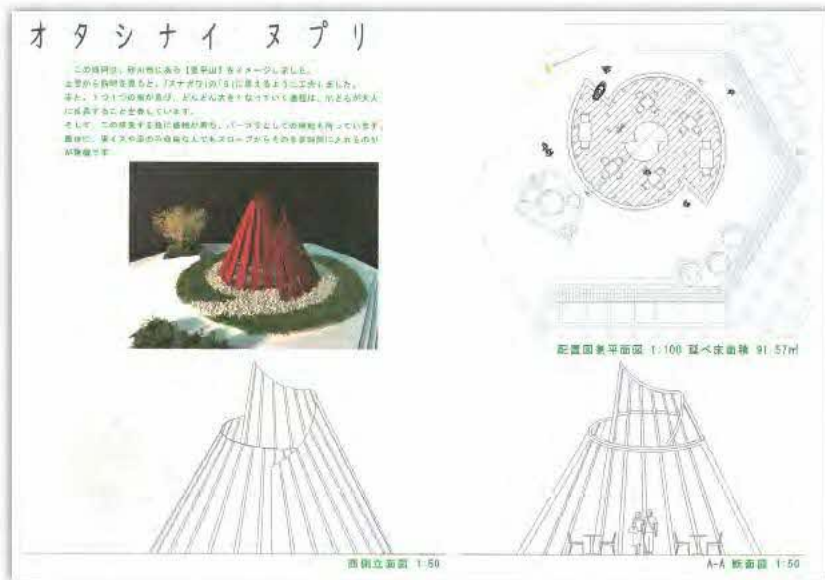
審査講評 エネルギー感で若々しい印象の中に可能性を感じられ、設置場所にふさわしく遊び心があり、かつ美しいデザインが評価された。



特別賞

北海道苫小牧工業高等学校

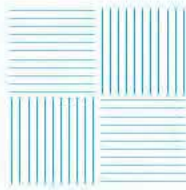
秋村 京佑 (3年)



作品名 「オタシナイヌプリ」

設計主旨 この四阿は、砂川市にある【豊平山】をイメージしました。上空から四阿を見ると、「スナガワ」の「S」に見えるように工夫しました。また、1つ1つの板が並び、どんどん大きくなっていく過程は、子どもが大人に成長することを表しています。そして、この成長する板に植物が育ち、パーゴラとしての機能も持っています。最後に、車イスや足の不自由な人でもスロープからそのまま四阿に入れるのが特徴です。

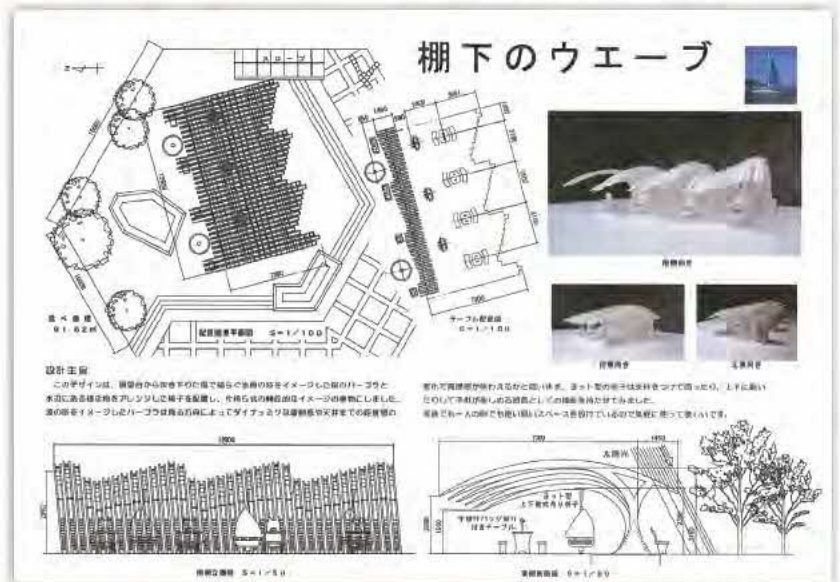
審査講評 斜めに立ち上がったパーゴラの平面的・立面的に美しいフォルムデザインやコンセプトの面白さが評価された。



特別賞

北海道苫小牧工業高等学校

池島 智秋 (1年)
高橋 鉄三 (1年)



作品名 「棚下のウェーブ」

設計主旨 このデザインは、展望台から吹き下りた風で揺らぐ地面の波をイメージした形のパーゴラと水辺にある様な物をアレンジした椅子を配置し、片持ち式の開放的なイメージの建物にしました。波の形をイメージしたパーゴラは見る方向によってダイナミックな躍動感や天井までの距離感の変化で高揚感が味わえるかと思えます。ヨット型の椅子は支柱をつけて回ったり、上下に動いたりして子供が楽しめる遊具としての機能を持たせてみました。家族でも一人の時でも使い易いスペースを設けているので気軽に使って欲しいです。

審査講評 波をイメージしたランダムな曲線のパーゴラが構造も含めとても美しく、大胆な構成・構造と造形の一体化に強い力量を感じさせることが評価された。

令和元年度(2019年度) 高校生建築デザインコンクール応募者名簿

北海道札幌工業高等学校

- 阿部 堅吾 [3年]
- 白鳥乃々華 [3年]
- 長谷川山翔 [3年]
- 福土 佳将 [3年]
- 池田 健人 [3年]

北海道札幌国際情報高等学校

- 園子 詩乃 [1年]

北海道函館工業高等学校

- 生田 麗紋 [2年]
- 山内 幸仁 [2年]
- 石山 憩 [2年]
- 米内 彩乃 [2年]
- 伊勢谷 蓮 [2年]
- 石坂 彩乃 [3年]
- 猪股 将伍 [2年]
- 菊地 春花 [3年]
- 今岡 尚 [2年]
- 佐藤菜里亜 [3年]
- 入場 桃子 [2年]
- 佐藤 夕菜 [3年]
- 小野寺 大 [2年]
- 新保真紗稀 [3年]
- 片山 湧介 [2年]
- 高橋 もも [3年]
- 川村 明未 [2年]
- 種田 隼斗 [3年]
- 古川飛雄馬 [2年]
- 亀井 朱々 [3年]
- 坂井 祐生 [2年]
- 永沢 呈樹 [3年]
- 竹田 舜也 [2年]
- 中谷 空 [3年]
- 島山 羅生 [2年]
- 藤田 大輝 [3年]
- 中條明理沙 [2年]
- 古館 舞 [3年]
- 成澤 実玖 [2年]
- 紅谷 夏望 [3年]
- 八田 真帆 [2年]
- 守田 響 [3年]
- 福田 怜恩 [2年]
- 山下朱々羽 [3年]
- 増井 凜 [2年]
- 和田まゆか [3年]

北海道小樽未来創造高等学校

- 今村 心 [3年]
- 寺戸 理貴 [3年]
- 越智夕姫乃 [3年]
- 中村 星輝 [3年]
- 小野 響妃 [3年]
- 西川 真大 [3年]
- 阪下朝加里 [3年]
- 藤田 亜美 [3年]
- 佐藤 虹輝 [3年]
- 干場 允瑠 [3年]
- 鈴木 太陽 [3年]
- 堀川 智慶 [3年]
- 鈴木 璃玖 [3年]
- 本田 佳基 [3年]
- 竹井 祐人 [3年]
- 水原 啓吾 [3年]

- 宮下 剛輝 [3年]
- 高橋 海斗 [2年]
- 安田 好汰 [3年]
- 高橋 颯汰 [2年]
- 阿部 大翔 [2年]
- 高橋 勇真 [2年]
- 岩井 愛叶 [2年]
- 田中真梨奈 [2年]
- 切無沢 佑 [2年]
- 千葉 康暉 [2年]
- 駒野 蓮 [2年]
- 豊島 若菜 [2年]
- 古山 和人 [2年]
- 西口 翔 [2年]
- 紺谷 真人 [2年]
- 藤原 大空 [2年]
- 酒井ほのか [2年]
- 本間 一樹 [2年]
- 佐々木歩夢 [2年]
- 本間 朱莉 [2年]
- 佐藤 大悟 [2年]
- 松村 里玖 [2年]
- 佐藤 流星 [2年]
- 村岡 蒼太 [2年]
- 空地 恵奏 [2年]

北海道旭川工業高等学校

- 安芸竜ノ介 [2年]
- 千葉 隆汰 [2年]
- 阿部 凌弥 [2年]
- 寺崎 勇気 [2年]
- 石澤 司 [2年]
- 中川陽世里 [2年]
- 犬飼 朔良 [2年]
- 長門 剛司 [2年]
- 大櫃 未央 [2年]
- 中村 菜実 [2年]
- 北 爽平 [2年]
- 中本 英太 [2年]
- 倉重由梨亜 [2年]
- 西田 裕真 [2年]
- 栗山 直也 [2年]
- 花岡 大空 [2年]
- 後藤 美羽 [2年]
- 平尾 未来 [2年]
- 小山 陽大 [2年]
- 前野 和敬 [2年]
- 齊藤 涼夏 [2年]
- 松浦 武史 [2年]
- 坂本 拓実 [2年]
- 松田 旭 [2年]
- 坂本 菜瑠 [2年]
- 三上 航平 [2年]
- 佐藤 侑星 [2年]
- 目黒 諒一 [2年]
- 宍戸 千花 [2年]
- 森 莉杏 [2年]
- 上条 寛太 [2年]
- 矢内 夢斗 [2年]
- 武田 諒牙 [2年]
- 野下 玲那 [2年]
- 田中 真鈴 [2年]
- 吉田 叶 [2年]
- 櫻井 修斗 [2年]

北海道名寄産業高等学校

- 和田 愛梨 [1年]

北海道留萌高等学校

- 池田 佳暉 [3年]
- 三上 健斗 [3年]
- 石田 晃平 [3年]
- 若佐 唯人 [3年]
- 石持 芳樹 [3年]
- 以下3名グループ
- 佐藤 迅 [3年]
- 縄 翔太 [2年]
- 菅原 祐太 [3年]
- 小野 朝陽 [2年]
- 長嶺 海斗 [3年]
- 水野 大介 [2年]
- 榎谷 健作 [3年]

北海道帯広工業高等学校

- 以下2名グループ
- 中尾 笑生 [3年]
- 脇坂 一冬 [3年]
- 浦川 諒太 [3年]
- 菅原 大悟 [3年]

北海道室蘭工業高等学校

- 以下3名グループ
- 鈴木 凌 [3年]
- 沖田しずく [3年]
- 木村 宥斗 [3年]
- 田屋 七海 [3年]
- 名取 寿憲 [3年]
- 千葉みらい [3年]

北海道苫小牧工業高等学校

- 秋村 京佑 [3年]
- 池島 智秋 [1年]
- 上杉 莉玖 [3年]
- 高橋 鉄三 [1年]
- 横見 創 [3年]
- 井元 翔羽 [1年]
- 池島 智秋 [1年]
- 以下2名グループ
- 最上 稜平 [3年]
- 以下3名グループ
- 佐藤 柚輝 [3年]
- 青山 侑平 [3年]
- 小林 凌太 [3年]
- 前田 幹太 [3年]
- 根山 瑠斗 [3年]
- 溝淵 拓海 [3年]
- 村上拳志朗 [3年]
- 富田 爽良 [3年]
- 茂地 柁宣 [3年]
- 田中 涼 [3年]
- 佐藤 颯斗 [4年]
- 南 優斗 [3年]
- 鈴木 達也 [2年]
- 佐々木虎太郎 [3年]
- 松芳 大輔 [2年]
- 大井研太郎 [3年]
- 板垣 謙典 [2年]
- 渡辺 千希 [3年]



高校別応募作品数一覧

学校名	応募作品数	参加人数
北海道札幌工業高等学校	5	5
北海道札幌国際情報高等学校	1	1
北海道函館工業高等学校	36	36
北海道小樽未来創造高等学校 (旧小樽工業高等学校)	41	41
北海道旭川工業高等学校	37	37
北海道名寄産業高等学校	1	1
北海道留萌高等学校 (旧留萌千歳高等学校)	10	12
北海道帯広工業高等学校	2	4
北海道室蘭工業高等学校	2	6
北海道苫小牧工業高等学校 (全日制・定時制)	13	26
計	148	169

ARCHITECTURAL DESIGN CONTEST 2019



共催

北海道
 公益社団法人日本建築家協会北海道支部
 一般社団法人北海道建築士事務所協会
 一般社団法人北海道建築士会

北海道建設部建築局ホームページ
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kkr/>

令和元年12月